

【クレプトマニア（窃盗症）とは】

■ クレプトマニア（窃盗症）とは

クレプトマニアとは、窃盗（万引き）をやめたくてもやめられない「依存症」という病気です。アルコールや薬物依存に比べるとまだ認知度が低く、専門的に治療を行っている機関も限られています。窃盗行為そのものから得られるスリルや解放感が忘れられず、繰り返し行うことで「してはいけない」と自責の念を抱きながらも、衝動を抑えられなくなる状態を指します。

■ クレプトマニアの特徴とは



疾患の理解：やめたくてもやめられない「依存」



盗む行為そのものに
依存する「病気」です

物が欲しいわけではなく、スリルや解放感を求めて繰り返してしまう依存症です。

特徴チェックリスト：
こんな症状はありませんか？

☒ 衝動を抑えられない



☒ 支払えるのに盗む



☒ 不必要な物を盗む



☒ 盗むとホッとする



クレプトマニアは、盗んだ「物」ではなく、盗む「行為」そのものに依存する病気です。放置すると、仕事の喪失や法的問題など、社会復帰に深刻な影響を及ぼす可能性があります。